

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会における  
木材利用等に関するワーキングチーム（第1回）

議事概要

1. 日時：平成27年10月20日（火）9：00～9：50
2. 場所：合同庁舎8号館5階 共用A会議室
3. 出席者：

遠藤 利明	東京オリンピック・パラリンピック大臣
高原 剛	内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局企画・推進統括官 <座長>
羽山 眞一	内閣官房新国立競技場の整備計画再検討推進室審議官
中川 真	財務省大臣官房審議官（大臣官房担当）
木村 徹也	スポーツ庁審議官
鈴木 良典	農林水産省大臣官房生産振興審議官（兼生産局）
牧元 幸司	林野庁林政部長
山口 浩史	国土交通省大臣官房審議官（官庁営繕）
石田 優	国土交通省大臣官房審議官（住宅）
小野寺 弘樹	東京都財務局オリンピック・パラリンピック施設整備担当部長
安倍 文洋	東京都オリンピック・パラリンピック準備局選手村担当部長
武田 直克	東京都産業労働局安全安心・地産地消推進担当部長
福島 七郎	公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会場整備局長

<事務局>

- |       |  |
|-------|--|
| 清水 幹治 | 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局参事官 |
| 小島 孝文 | 林野庁木材産業課長                                |

※花井徹夫 東京都オリンピック・パラリンピック準備局施設輸送担当部長は欠席

4. 議事要旨

・遠藤東京オリンピック・パラリンピック大臣より挨拶。

**【遠藤大臣】**

早朝から「木材利用等に関するワーキングチーム」に出席いただき感謝。2年前にブエノスアイレスで皆で万歳して、肩を抱き合った時はあと7年あると思ったが、新国立競技場の建設等いろいろ考えるとあと5年しかないというのが正直な気持ち。

それまでしっかりした運営をしなければならない。それと同時にこの東京オリンピック・パラリンピックを日本全体のオリンピック・パラリンピックとして、日本の皆さん方が盛り上げて楽しんでいただけるオリンピック・パラリンピックにしていかなければならない。

そういうことを考えると、全国津々浦々の皆様方に協力いただく、その一つとして地域の産材

をオリンピック・パラリンピックにしっかり利用していく。そういう意味で木材利用というのは大きな価値のある事業と思っている。

地域の山間地は大変荒れている、あるいは衰退している。国全体として地方創生に取り組んでいるが、こうした木材の利用によって地域の活性化が図られる。そういう意味でも、大変大きな価値がある。また、木の持つ柔らかさ、日本の文化、おもてなしの気持ちをしっかり世界の皆様方に発信できる絶好の機会ではないか。

国、地方公共団体では、現在、公共建築物等木材利用促進法に基づいて、公共建築物等での木材利用に努めており、オリンピック・パラリンピック関連施設についても、是非そのような方向で進めてまいりたい。

既に、国産材CLTや木質耐火部材等が開発されており、全国のスポーツ施設でも木材が使われている。日本には法隆寺やいろいろな木造建築技術もあり、そうした日本の材木の持つ力を絶好の機会として示していただきたい。

新国立競技場については、8月28日に新国立競技場の整備計画を策定した。特に配慮すべき事項として、木材の活用を図ると明記している。

施設整備主体の東京都、組織委員会においては、責任を持って木材利用を検討し、コスト面も含めて適材適所の考え方の下、木材を最大限利用する方向で進めていただきたい。

私個人の思いから言えば、できれば「これが木造建築だ」というものが一つでもあれば、日本の象徴として、今回の木材利用の象徴として、活かせるのではないかとと思っている。

いろいろ課題もあると思うが、皆様方から協力して頂いて木材利用の促進になお一層ご尽力いただくようお願い申し上げます。

・事務局よりから資料1に基づき、「(1) ワーキングチームの開催について」を説明し、了承。

・各構成員から資料2に基づき、「(2) 各機関からの情報提供について」を報告。

・意見交換

#### 【林野庁林政部長】

東京都にお尋ねしたい。有明アリーナについては、屋根の構造材に集成材と鉄骨のハイブリッドを使うという説明があったが、イメージしやすいように既存施設で類似の構造材を使った例があれば教えていただきたい。

また、有明アリーナで実際に木を使う場合、どれくらいのボリュームで木材を使う予定なのか教えていただきたい。

アクアティクスセンターについては、構造には木材を使用しないということだが、その理由について確認をさせていただきたい。

#### 【東京都財務局オリパラ施設整備担当部長】

有明アリーナの件について、類似の事例というのは思いつかない。天井のリブ材については3メートル程の幅で、メンテナンス用のキャットウォークと一体的につくるものであり、屋根

加工の鉄骨の下弦材の一部を構成するもの。集成材と鉄骨のハイブリッドで造るので、これと同じ事例というのはなかなかないのではないかと。

有明アリーナの木材の使用量については、構造材と壁、天井等の内装木質化とあわせ、1,000㎡程度の木材利用を考えている。詳細については実施設計の中で検討していくこととしている。

アクアティクスセンターについては、ほとんどがプールの空間ということで、観客席も含めた大空間である。有明アリーナと同様に大スパンであることと、大会時は吊りものを求められ荷重があることから、経済的合理性を考えると木材だけというのは難しい。

プールについては事例調査もしたが、湿気の問題があり、メンテナンスや木材加工にも注意が必要であることが分かっているため、構造材では使用しなかった。

そのかわり、来場者の目に触れるような場所、エントランスロビーや都民利用を考えているサブプール、併設するトレーニングルームやスタジオ、レストラン、カフェなどについては、積極的に木質化を図っていくことを考えている。

#### **【内閣官房オリパラ推進本部事務局企画・推進統括官】**

東京都については、恒久施設であり整備も先行している。補助制度の調整というのが大きな課題だと考えられる。必要に応じて内閣官房としても調整していきたい。

ホッケー、テニス、カヌー、スラローム会場など小規模施設はまだ基本設計段階だが、こちらでも木材利用を是非検討していただきたい。

組織委員会については、仮設施設であり東京都に比べて整備のタイミングが遅めだが、農林水産省からリユースの仕組みも検討いただけるということで、モデル的な事例がひとつでもふたつでもあれば、対外的な発信もできるし、日本全体のオリンピック・パラリンピックにするという趣旨にもかなう。協議を引き続きお願いしたい。

選手村のビレッジプラザについては、木材利用についての期待が高い。是非活用の検討をお願いしたい。

内閣官房ではオリパラ特措法に基づく基本方針について11月末を目標に作成を進めているところ。東京都や組織委員会の意見も伺いながら作成するものだが、木材利用というのは訴えていかなければならない課題の一つであり、よろしくお願いしたい。

#### **【林野庁林政部長】**

組織委員会にお尋ねしたい。例えば、駅から競技会場までの休憩施設やベンチ、外構整備などについては検討されているか。検討されているならどのようなスケジュールか。

#### **【組織委員会会場整備局長】**

ベンチ等については、建物ではないので具体的な日程がはっきりしているものではない。調度品等でこういうものを使って欲しいということがあれば、提案していただきたい。

仮設の大部分の発注については、2017年前半くらいの日程を考えている。

#### **【東京都財務局オリパラ施設整備担当部長】**

林野庁では、大会後に地方への移設再利用についてのアンケート調査を実施されており、それも踏まえて伺いたい。都の施設では、大会後に減築する施設もある。そういった場合に再利用が考えられるのであれば、コスト面やリユースということで非常にいいと思うが、イメージ

として林野庁はどのようなリユースの仕組みを考えているか。

**【林野庁林政部長】**

観客席とのお話もあったが、具体的にご相談いただければ検討していきたい。

各自治体で地元材を使って欲しいという声は非常にある。各自治体の声を踏まえながら、林野庁や内閣官房が間に入って、コーディネートしてリユースがうまく回るような仕組みをつくっていきたい。

**【内閣官房オリパラ推進本部事務局企画・推進統括官】**

地方からは地元材を使ってもらったうえで、再利用するという考えはある。例えば、林業県の木材を一部使って、減築した後にまた戻すということであれば、内閣官房や林野庁が間に入って調整するので、是非検討していただきたい。

・ 閉会